

【公報種別】 実用新案法第 14 条の 2 の規定による訂正明細書等の掲載

【部門区分】 第 4 部門第 1 区分

【発行日】 令和 5 年 8 月 1 日(2023.8.1)

【登録番号】 実用新案登録第 3222949 号(U3222949)

【訂正の登録日】 令和 5 年 7 月 12 日(2023.7.12)

【登録公報発行日】 令和 1 年 9 月 5 日(2019.9.5)

【出願番号】 実願 2019-2337(U2019-2337)

【国際特許分類】

E 0 1 F 7/04(2006.01)

【F I】

E 0 1 F 7/04

【訂正書】

【提出日】 令和 5 年 6 月 30 日(2023.6.30)

【訂正の目的】 実用新案登録請求の範囲の減縮

【訂正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

斜面に設置するポケット式落石防護網において、該落石防護網を支持し、開口部を確保するために斜面に所定の間隔で立設される支柱であって、

前記斜面に定着する基礎部と、

該基礎部に固着させ、前記斜面の上下方向に回動自在に結合するヒンジ部と、

該ヒンジ部から上方に延設される柱部と、

該柱部の斜面上方の側面に結合され、通常時は該柱部と一体の断面係数を有する構造物として機能し、想定を超える荷重に対しては、該柱部との結合構造によって、該柱部本体に及ぼす影響を軽減することができる、該柱部とは別体で該柱部長手方向に線状の頂部を有し山形状を形成する衝撃方向分散部と、

前記柱部上部に設ける斜面上方からの吊りロープを連結する吊りロープ連結部と、

前記柱部上部に他の支柱と繋ぐ上段横ロープを連結する横ロープ連結部と、
を備えた支柱。

【請求項 2】

請求項 1 の柱部と衝撃方向分散部が鋼材からなる請求項 1 の支柱。

【請求項 3】

請求項 1 の柱部と衝撃方向分散部の間に衝撃を緩和する方向緩衝部材を備えた請求項 1 若しくは請求項 2 の支柱。

【請求項 4】

請求項 2 の柱部と衝撃方向分散部の結合に接合強度を調整する溶接を用いた請求項 2 の支柱。

【請求項 5】

請求項 1 の柱部が水平方向への移動が可能となるように、請求項 1 のヒンジ部に水平方向移動部を備えた請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載された支柱。

【請求項 6】

請求項 1 の柱部が水平方向に揺動が可能となるように、請求項 1 のヒンジ部及び柱部に水平方向の揺動機構を備えた請求項 1 乃至請求項 5 の何れかに記載された支柱。

【請求項 7】

請求項 5 の水平方向移動部に移動緩衝部材若しくは請求項 6 の水平方向揺動部に揺動緩衝部材を備えた請求項 5 若しくは請求項 6 の支柱。

10

20

30

40

50